

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	北消防署管理事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	北消防署				
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	吉野 康雄				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	北消防署職員	意図	北消防署職員及び消防施設の充実強化を図る。
事業内容	市民生活における安全・安心、安定を守る拠点として庁舎の施設、設備及び車両の維持管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成14年から北消防署となった。地域環境が変化し、災害の複雑化、予防行政の高度化防災行政の重要性により、業務の増加が予想される。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	消防車両運用件数（2台）	1304	1436	1517	件	→→	
②	救急車運用件数	2455	2171	2184	件	→→		
③	車両の点検・修理・整備回数	25	25	43	件	↓↓↓		
④	庁舎の点検・保守・修理回数	35	37	39	件	↓↓↓		
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 消防庁舎の老朽化が進んでおり、毎年修繕が発生しています。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,848,151	79,739,664	79,072,326				
事業費(b)(円)		4,848,151	4,224,664	5,240,326				
うち一般財源		4,848,151	4,224,664	5,240,326				
職員給与費(c)(円)			75,515,000	73,832,000				
人役・職員(人)			11.00	11.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	市内北部地域の防災拠点であることから、消防庁舎及び車両、資機材等を適切に維持管理するとともに、経費の削減に努める。	③取組の課題	消防庁舎の老朽化が進行し、修繕も増加しているため、市内北部地域の防災拠点として機能を果たせるよう、適切な庁舎管理や車両、資機材の管理が求められている。
②今年度(H29)に実施した取組	消防庁舎及び車両、資機材等の適切な維持管理。	④今後(H30以降)の改善計画	消防庁舎、消防車両の維持管理や資機材の点検整備、修繕費用であることから、各職員が「器具愛護」を常に意識し、経費の削減に努めていく。